

# 日本共産党 大津市会議 員団ニュース

No.209

2020年12月号

大津市御陵町3-1(市役所内)  
TEL 528-2842 FAX 524-5613

ご意見・ご要望を  
お寄せください。  
info@otsu-jcp.net



コロナ禍でも変わらない市の姿勢

## いのち・暮らし第一の政治へ

11月25日から大津市議会通常会議が開かれています。新型コロナウイルスの感染と国民生活・経済状況がいつそう深刻になっていますが、自公政権は無策で、市民の困窮、不安も拡大しています。大津市と議会がどういう姿勢に立ち、市民を守るのかが問われています。

11月市議会

議案の討論・採決は  
12月22日(火)  
10時～市役所4階  
で行われます【時間変更の場合あり】  
ぜひ傍聴に  
お越しく下さい  
市役所新館1階ロビーで  
もテレビ中継が行われ、インターネットでの中継、録画もご覧いただけます。

悪循環の期末手当で  
引き下げ可決

積極的に  
支援する  
方針こそ示す  
べきです。



今会議初日には、市

のための市民意識調査でも「優先して充実に努める施策」にあがっており、課題が深刻な分野です。市の姿勢が問われます。

### 命と健康を守る皆

### 市民病院に必要な支援を

また、市民病院の計画の基になる中期目標も提案されています。公立病院として不採算医療に取り組み、地域拠点病院の役割を果たし信頼される病院をめざすことが求められています。市は、職員の意識改革ではなく、自ら

の一般職員と非正規(会計年度任用)職員の期末手当をマイナス改定する条例改正が、賛成多数で可決されました。民間企業のボーナス水準が公務員を下回ったという理由ですが、これでは引き下げ競争となり、労働者の暮らしの低下、消費の冷え込みによる景気悪化を促進するだけです。

加えて、保育士、学校職員をはじめコロナ禍で奮闘する職員の労苦に応える手当てすべきであり、党市議団は、議案に反対しました。(コロナ対策関連は裏面に掲載)

今年度は市の各種計画の策定年度にあたり、今議会には、大津市のすべての計画の基礎となる「大津市総合計画」・第2期実行計画が提案されています。

市は、子育て、学び、健康・高齢者福祉、観光振興、防災

の5つを、計画を先導する重点的な取り組みとし、あわせて新型コロナウイルス対策を行うとしています。そこには、共生社会の実現と、その力ギとなる障がい者福祉は位置づけられていません。障がい者福祉は、計画作成

## 戦前に逆戻りさせるな

### 学術会議への政治介入

日本学術会議は、日本の科学者を代表する機関で、政府から独立して政策提言や国際的な活動を行っています。菅首相はこの会員6名を理由も説明せず任命拒否し、さ

らに学術会議に問題があるようにすり替えています。これは憲法と学術会議法に違反し、これまでの政府見解にも反する暴挙です。

戦前の日本は、国民の自由を奪い、学問を軍事研究に総動員し侵略戦争に突き進みました。その反省に立ち、戦後は政府が学問に介入しないルールが確立されました。この問題は国民全体の問題であり、日本共産党は自由と民主主義を守るために徹底追及します。

### 11月通常会議・一般質問紹介

## 障がい者の住まいの場確保に責任ある手立てを！

林まり 市議



市内の施設もしくはグループホームの入居を希望する障がい者は、220人(11月25日時点)で、

待機者に対して施設整備は追いついていません。特に、待機者の半数以上を占める重度の方々は、ショートステイも介助者の不足からなかなか受け入れてもらえない状況です。高齢になったご家族が介助を続ける実態は「老障介護」として社会問題化しています。

者の住まいの場の確保について、市の責任を明確にした実効性のある具体的なプランを求めました。しかし、市は言葉では寄り添うと言いながら、課題解決のための施策も示さず、毎日毎日、薄水を踏む思いで過ごす市民の思いに応える答弁はありませんでした。

誰もが希望を持ち安心して暮らせる大津市の実現に向けて、引き続き、公的責任を果たすよう求めていきます。

【その他の質問項目】「コロナ禍の生活支援、ごみの削減について」



憲法を守り市民の声に応える政治を求め訴える市議団

## 法律違反の任命拒否は撤回を！

## 高齢者を支える 介護事業者に必要な支援を



杉浦とも子 市議

杉浦とも子 市議  
新型コロナウイルスの感染を心配し、高齢の方々は外出を控えるなど、人との接触を避け、必要な通院や介護サービスまで控える傾向が見られます。

高齢者が長引くもと、高齢者の健康や暮らしの質に大きな影響が及び、さらには介護が必要な市民が生活する上で欠かせない、通所や訪問介護の事業所が相次いで廃止されています。また、介護職員は感染予防と人手不足などで労働強化となり、体

調を壊しながら勤務を続けざるを得ない事態も出てきています。

杉浦市議は、事業所の運営状況を把握し、介護崩壊に至らないよう支援を強めるよう求めました。市は、国の交付金を活用した県の慰労金や市の経費補填、給付金などで一定対策をしており、人材確保にも取り組むと答えましたが、事業所の運営は切迫しています。市自身がPCR検査を行うなど職員を支え、適切な支援を実施し、高齢者の暮らしを支えることが求

められます。

【その他の質問項目】市民病

## 救命に最大限活用できるように AEDの登録変更を

自動体外式除細動器

AEDの登録変更を



たてみち秀彦 市議

心停止の際に機器が自動的に心電図を解析し、電気ショックを与えるAEDは、誰もが正確に使えるよう工夫され、救命に欠かせない医療機器です。学校や支所など市の施設にも設置されていますが、登録の区分によっては設置場所でしか使用できず、緊急時でも近隣に持ち出せないことがあります。たてみち市議は、公共施設に設置されているものは持ち出せるようにと質問しました。

院、市総合計画・第2期実行計画案について  
関係機関に対しても緊急時に適切に対応するよう要請、説明を行うと答弁しました。  
【その他の質問項目】市営住宅の管理・運営、文化芸術の振興・支援について



支所に設置されているAED

市も、市が管理するAEDは緊急時に可能な限り持ち出しできることが望ましいと認め、登録要綱の見直しを今年度内に行い、



市は市民を守る決断すべき  
柏木けい子 市議

新型コロナウイルスの感染が広がり続け、医療現場だけでなく重症化のリスクが高く、市民生活を支える介護や福祉の現場でも職員や利用者

介護、福祉施設の職員に対して、クラスター（感染集団）を防ぐための定期的なPCR検査を実施するよう市に求めました。

しかし、市は、行政検査がひっ迫することになる、検査の精度が…などと後ろ向きな答弁でした。アジア各国でも広く行われている検査がなぜ日本でできないのでしょうか。根本には政府の姿勢がありますが、市は市民を守るために取り組むべきです。

クラスターが発生してからでは遅く、社会を支える労働者が安心して働けるためにも、検査の拡充を引き続き求めていきます。

## コロナウイルスから命、社会を守れ 医療・福祉施設の職員のPCR検査を

しかし、あくまでも一步前進であり、柏木市議は、医療、



大津市北部の伊香立下龍華地先に運び込まれた土砂と産廃



市内各地の産廃や土砂の不法投棄に対し、

## 不法投棄なくせ 指導強化と実効性ある対策を

小島よしお 市議

市はくり返し指導を行っていますが、業者は従わず、市北部にある延暦寺霊園前の例では、市税・約3億円

を投じた行政代執行で崩落防止対策などを行いました。伊香立下龍華でも、土砂撤去命令地に産廃が持ち込まれており、小島市議は、市が強い姿勢で臨むことを求めるとともに、「投棄ではなく仮置きだ」と言い逃れる業者も多いため、仮置きも許可制とする条例策定を提案しました。市は撤去の指導を強化していくと答弁しましたが、条例には否定的回答でした。引き続き、市民の安全と生活環境を守るために実効性のある対策を強く求めていきます。

【その他の質問項目】公共交通の確保について